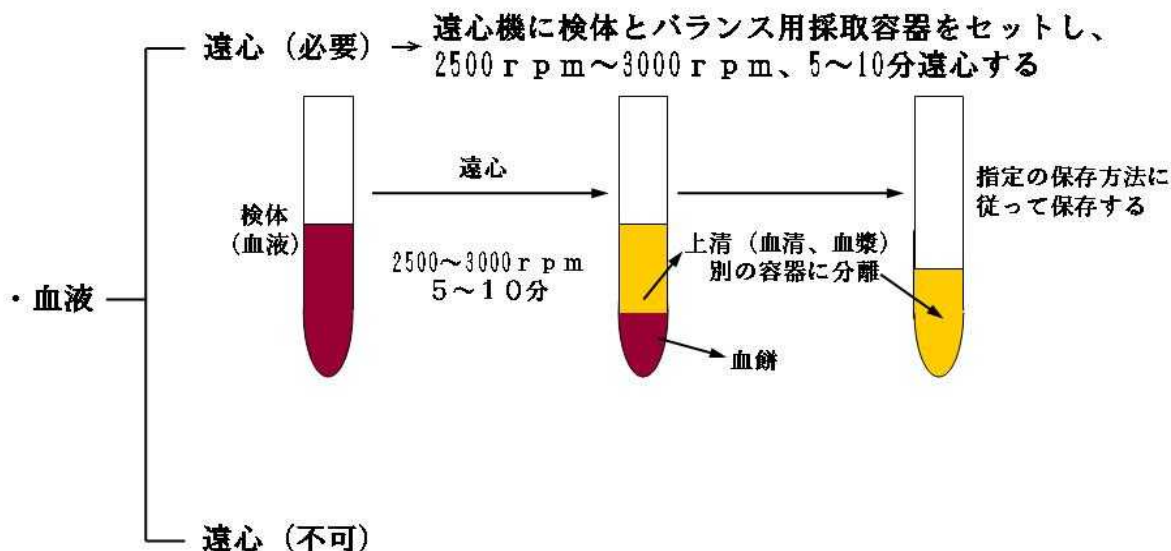


## 検体の保存法（１）

平日の夜間・土・日・祝日等で検体を検査部に提出できない場合は、検体採取後、下記を参考に検体保存し、受付時間に提出下さい。

尚、抗凝固剤入りの採取容器は採血後直ちに約5～10回転倒混和して下さい。ブルーキャップやピンクキャップの採取容器は採血直後5回以上転倒混和して、30分間放置後遠心して下さい。



- ・尿
  - ・リコール
  - ・その他の検体
- 指定の保存方法に従って保存する

### 血液検査

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
血球計数 (白血球分類)	血液	EDTA-2K (紫検血)	必要	不可	不可	保存不可
備考：採血後4時間以内に測定						
赤血球沈降速度	血液	3.8%シアンリウム(血沈)	必要	不可	不可	保存不可

以下の検査項目（採取容器）は検体保存条件が異なるため、指定通りお願いします

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
凝固・線溶検査	血液	3.13%シアンリウム(黒凝固)	必要	必要	上清を分離	冷凍保存 (-18 )
備考：採血後2時間以内に分離						
血液細胞マーカー検査	血液、骨髓血 リンパ節、胸腹水 肺胞洗浄液	ヘパリンリウム (緑ヘパリ)	必要	不可	不可	保存不可
尿中FDP	尿	スピッツ	必要	必要	不要	冷凍保存 (-18 )
備考：血液混入時は2500rpm/10分遠心後上清を冷凍 (-18 )						

## 検体の保存法（２）

### 一般検査

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
尿定性・尿沈渣	尿	スピッツ	不要			保存不可
便潜血	便	専用容器				冷蔵庫（４）

### 生化学検査

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
一般生化学	血液	分離剤入（分離剤入）	必要	必要	上清を分離	冷凍保存（-18）
生化学(緊急)	血液	ハ <sup>+</sup> リナトリウム(緑ハ <sup>+</sup> リ)	必要			備考：解糖有り。直ちに分析

以下の検査項目（採取容器）は検体保存条件が異なるため、指定通りお願いします

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
血糖（NaF）	血液	フッ化ナトリウム(灰血糖用)	必要	不可	不可	冷蔵庫（４）
アンモニア	血液	ハ <sup>+</sup> リナトリウム(緑ハ <sup>+</sup> リ)	必要	不可	不可	氷水中
			備考：直ちに氷冷。速やかに測定			
血液ガス	血液	血ガス用注射器	キリモミ混和	不可	不可	不可
			備考：直ちに氷冷。速やかに測定			
尿	尿	スピッツ				冷蔵庫（４）
			備考：血液混入時は2500rpm/10分遠心後上清を冷蔵（４）			
髄液・その他の検体	髄液・その他	スピッツ				冷凍保存（-18）
			備考：血液混入時は2500rpm/10分遠心後上清を冷凍（-18）			
ICG	血液	分離剤入（分離剤入）	必要			保存不可
			備考：ICG注射後の採取容器は遮光			
LD <sup>+</sup> ア <sup>+</sup> イ <sup>+</sup> ム	血液	分離剤入（分離剤入）	必要	必要	上清を分離	冷凍保存（-40）

### 免疫血清検査

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
免疫血清一般	血液	分離剤入（分離剤入）	必要	必要	上清を分離	冷蔵庫（４）

以下の検査項目（採取容器）は検体保存条件が異なるため、指定通りお願いします

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
補体価（血清）	血液	分離剤入（分離剤入）	必要	必要	上清を分離	冷凍保存（-20～-40）
インスリン(IRI)	血液	分離剤入（分離剤入）	必要	必要	上清を分離	冷凍保存（-20～-40）
intact-PTH	血液	EDTA-2Na	必要	必要	上清を分離	冷凍保存（-20～-40）
尿中 2マ <sup>+</sup> ウ <sup>+</sup> グ <sup>+</sup> ロ <sup>+</sup> リ	尿	スピッツ				冷凍保存（-20～-40）
			備考：血液混入時は2500rpm/10分遠心後上清を冷凍（-20～-40）			

### 遺伝子検査

項目	検体種	採取容器	採血後転倒混和	遠心	分離	保存温度
遺伝子検査 全項目について	末梢血、骨髄血	EDTA採血管	必要（要混和）	不可	不可	保存不可
	リンパ節、胸水 腹水、膝液、胆汁	滅菌試験管	不要	不可	不可	保存不可
	組織	検体が取出し易い滅菌容器で高保湿性	不要	不可	不可	保存不可

検体の保存法に疑問がある場合は、時間内は各検査室へ直接連絡下さい。又、時間外は時間外緊急検査担当者へご相談下さい。